

- 大学入試共通テスト
- 共通テストチャレンジ 他

選ぶこと

外国語科 英語 幸野 成希

ここにわざわざ書くのが恥ずかしいくらい月並みな言葉ではあるが、人生は選択の連続だ。私自身はまだ30年も生きていないのだが、この言葉の意味が年々重くのしかかってくるように感じる。新宿生の皆さんの場合、進路選択という大きな「選択」に加えて、学校に行くかサボるか、課題の答えを写すのか自力で頑張るのか、レポートを丁寧に書くのかテキストにコピペで済ませるのか、どの科目を履修するのか、などなど日常の中にも小さな「選択」は溢れている。

何かを「選ぶ」ということは、そちらを選ぶことで得られた他の「何か」を捨てることである。選択が大きなものであればあるほど、このことを意識せずにはいられなくなる。皆さんは目の前に「進路選択」という人生を左右する大きな「選択」を控えている。1つの大学・学部を選ぶということは、その他数多ある他の大学・学部で学ぶ権利を捨てるということだから、当然迷う。

実は私も大学4年生の時に、自分の進路について迷ったことがあった。今思えばこれまでの人生で一番の迷いだった。簡潔に言えば、留学に1年行き、大学を5年で卒業するのか、留学には行かず4年で卒業しとりあえず現場で働いてみるのか、という2択で迷っていたのだが（なぜそんなに迷っていたのかを話すと長くなるので割愛するが）、そんな時、ある本に出会った。それが朝井リョウさんの「武道館」という小説だ。以下、ある人物のセリフの引用。

「・・・正しい選択なんてこの世にない。たぶん、正しかった選択、しかないんだよ。何かを選んで選び続けて、それを一個ずつ、正しかった選択にしていくしかないんだよ。」

（朝井リョウ（2015）「武道館」文藝春秋）

皆さんはこの言葉をどのように受け止めるだろうか。私は「正しい選択なんてこの世にない」という価値観に衝撃を受けたし、このように考えると心が軽くなったのを鮮明に覚えている。その時点では存在していない「正解」を選ぼうとするから苦しいのだ。特に自分の人生を左右するような大きな選択をする時、大切なことは、その時点での正解を選ぶことではなく、自分がする選択を「正解にする」覚悟を持ち、そして一度選んだのならばそれを「正しかった選択」にするべく、日々を前向きに生きることではないか、と思う。

さらに、このメッセージを、より正確に伝えてくれるのが Steve Jobs 氏による、かの有名なスピーチ「Stay hungry, Stay foolish」の中のこの言葉だ。

You can't connect the dots looking forward. You can only connect them looking backward.

将来を見据えて点と点をつなぐことはできない。

過去を振り返った時に初めて点と点がつながるのだ。

（Steve Jobs スタンフォード大学卒業式（2005年）でのスピーチ：Stay Hungry, Stay foolish より）

新宿生は、おそらく我々大人が想像しているより遥かに忙しい毎日を送っている。Jobs 氏の言葉を借りれば、毎日が「点」で溢れかえっているのだらうと思う、良くも悪くも。しかし、このような毎日を送っていると1つ1つの点はぼやけていき、最後には自分にとって意味がある「点」なのか、意味のない「点」なのか区別を始める。しかし、やはり、選ぶ時点で「正解」が存在しないのと同じように、その時点でその点に意味があるかどうか、将来「線」になるのかどうかはその時点では決められないのではないかと思う。ただひたむきに、目の前の点を線にするために行動をするしかない。そうしてがむしゃらに生きていくと、不思議なことに、ある時くっきりと自分を構成する確かな「線」が浮かび上がってくる。選んだ点が正解になるのだ。

目まぐるしい日々、不満も愚痴もあるだろうし、「めんどくさい」「こんなことやってなんの意味があるんだ」と、目の前の点を自分にとって意味のないこととして切り捨ててしまう気持ちもよくわかる。しまいには、新宿高校を選んだことを後悔している人もいるのかもしれない。しかし、せっかく自分で選んで入学を勝ち取った新宿高校。新宿生の皆さんには自分が中学生の時に選んだ点を、「正しかった」選択、線になる「点」にしてほしいし、これから選ぶことも正解にする覚悟を持ってほしいと思う。そのために、私も微力ながら力添えできればと思う。

追伸：→の QR コードから引用した Steve Jobs 氏のスピーチが閲覧できるので、興味のある人は英語の勉強ついでにぜひ。



○大学入学共通テスト

令和2年第1回大学入試共通テストが実施から5年が経過し、令和7年度からは新しい高等学校学習指導要領(新課程)に対応した第6回大学入試共通テストが実施されます。

主な変更点は以下の通りです。詳しくは大学入試センターのHPで確認してください。

国語：試験時間が10分増加し、「近代以降の文章」と「古典」の配点割合の変更

地理歴史・公民：6科目のうちから最大2科目選択に変更(組合せに注意が必要)

数学：数学①の数学Aの選択がなくなり、図形の性質、場合の数と確率の2項目を解答する形に変更

数学②は試験時間が10分増加し、数学BCは4項目から3項目選択となる

理科：2日目午前・午後に分散していた時間割を2日目午前中のみに変更(基礎科目受験も同一時間帯に実施)

教科「情報」の試験が2日目の17:00～18:00に実施

共通テストは、6教科8科目受験の場合、1日目は9:30～18:20、2日目は9:30～18:00という時間割になる人もいます。そのほかに試験会場までの往復時間や公共交通機関での移動など、学力だけでなく、2日間の試験をやり遂げる体力、いつもとは違う環境に対する忍耐力も必要です。新宿生は3年間の学校生活で鍛えられているはずですが、これまで通りの規則正しい生活を送り、共通テスト本番に臨みましょう。

上手な「ライフテック」を身につけよう

東京大学名誉教授
大学院総合文化研究科身体運動科学
新14回（1962）卒業
小林寛道（こばやし かんどう）

新宿高校の卒業が62年前、入学したのが65年前なので、時代的に言えば、昭和初期に生まれた人が江戸時代の話聞くようなものなのでしょう。江戸時代は、文明開化以前の時代だったので、封建的で野蛮な国だったと教えられましたが、今では、江戸時代には文化が栄え、土木工事や科学技術、識字率の高さなど、世界的にみて立派な文化国であったというように、歴史の見方は、時代によって大きく変化しています。価値観や価値基準をどのように持つかによって、社会や文化の評価、生き方に関する考え方は大きく異なってきます。〇〇ハラスメントというのも良い例でしょう。

皆さんが生きている現在や将来は、時代の変化がますます大きくなり、すでにSFの世界で描かれているように、人間のやることがAIにとって代わり、脳の活動もAIに影響される要素が大きくなってくると思います。自分はAIなのか人間なのか区別がつかないような錯覚にとられる人も現れてくるでしょうし、AIとしか交流できない人も多く出てくるかもしれません。これからの時代は、AIといかに上手に付き合うかという、付き合い方が「ライフテック」として必要な時代になります。

そうした時代の流れを象徴するように、人として「いかに生きるべきか」という哲学の授業が大学では大人気になっています。哲学は、いつの時代にも必要ですが、高校時代には難しくて訳が分からなかった哲学も、時間がたつと「なんだ、そういうことだったのか」とわかる部分と、いつまでたっても難解な部分とがあります。若い頃に非常に重大だと考えたことが、実は、そうでもなかったり、案外簡単なことが実は重要なことだったりもします。

「何のために学問をするのか」というのが、高校時代の私にとっては最も重要な命題でありました。「人間形成のために、学問をするのだ」と「未熟を感じる自分」を納得させて大学に進学しましたが、人間性を磨くことの学問は案外期待外れで、科学を追求する世界のなかで、「科学的でない」ものは、「おかしい」という強い考え方を持つ人たちが多くなっています。「サイエンス」の時代は、ますます進行することでしょう。

私は、体育の道に進みましたが、この道を選んで本当に良かったと思っています。

体（身体・健康）と心（脳・精神）と動くこと（活動・運動・行動・仕事）の大切さは、どんな時代になっても変わらないと思います。生身の人間として、これらを司る意欲、こうありたいと思う意思、希望、努力といったものは、上手な「ライフテック」を身につけるうえで必要だと思います。

若い皆さんには、「ライフテック」について、考えてみることをお勧めします。

（同窓会のご協力を得て「先輩からの言葉」を掲載しています。）

○大学入学共通テストチャレンジ（1・2年生）

1月23日（木）大学共通テストチャレンジが新宿高校で実施されます（主催は東進ハイスクール）。これは、共通テストと同じ問題を解くものです。狙いは、本番の試験を体験して、今後のモチベーションアップにつなげることと、学習状況の確認です。1・2年生共に全員受験です。今の自分の実力を試す貴重な機会、自身の目指すレベルを体感する機会です。受験後の見直しも含めて、しっかり取り組みましょう。

大学入試共通テストチャレンジの時間割（予定）は、以下の通りです。

- ①国語 8:30～10:00（90分）
- ②英語R 10:15～11:35（80分）
- ③英語L 11:50～12:20（30分）
- ④数学ⅠA 13:00～14:10（70分）
- ⑤数学ⅡB 14:25～15:35（70分） 2年生のみ

○令和8年度から大学入学共通テストの出願方法が変更

2024年9月6日大学入試センターから「令和8年度実施の大学入試共通テスト（現2年生が受験する共通テスト）から出願手続きを原則オンライン化する」との発表がありました。検定料の支払いもオンライン化され、受験票は受験生が各自で紙に印刷して持参となるようです。

これまでは、学校で志願票の下書きを行い、担任や進路指導部がチェックを経て、志願票を清書、学校がまとめて出願という形でしたが、今後は、志願者本人が一人でインターネット上で行うこととなります。

詳細は来年度の進路指導部の共通テスト出願説明会でお知らせします。

※今後の予定（進路関係）

12月 25日（水）	難関大学ガイダンス（2年）
1月 8日（水）	共通テスト直前説明会（3年）
18日（土）/19日（日）	共通テスト（3年）
20日（月）	共通テストリサーチ（3年）
23日（木）	共通テストチャレンジ（1・2年） 校内実施
24日（金）	共通テストリサーチ返却（3年）
29日（水）	実力テスト（1・2年）